

2023～2024 年度 地区運営方針(案)

334-A 地区スローガン

「小さな選択が 世界を変える We serve」

地区ガバナーキーワード

「一隅を照らす—未来への投資」

基本方針(案)

ライオンズクラブ国際協会は 1917 年アメリカ合衆国シカゴ市で誕生して 106 年目になります。全世界で 5 万のライオンズクラブに 140 万人のメンバーを有し世界で NO.1 の奉仕団体にまで成長し活動を展開しております。

資本主義が進む中で貧富の差は広がって我が国においても格差は厳しい状態が続いています。恵まれない人達に温かい援助の奉仕活動をライオンズクラブは継続してまいります。

戦乱や干ばつで荒廃したアフガニスタンで人道支援、復興支援の歩みを進めて 2019 年に凶弾に倒れた中村医師(享年 73)。中村医師は大干ばつに見舞われると 1600 本の井戸を掘削。その後「100 の診療所より一本の用水路」を掲げ、独学で山田堰を建設して灌漑事業に取り組んだ。これにより 1 万 6500 ヘクタールもの荒れ果てた農地や砂漠が緑に変わり 65 万人の暮らしが支えられるようになった。この事は多くの方がご存じの事と思います。

我々は人道奉仕団体として「一隅を照らす」心で活動しています。1 日も早く新型コロナウイルス感染が収束するように。私達はコロナ禍の中で試行錯誤を続けて来ました。昨年にはロシア、ウクライナでの戦争が始まり何時終わるのかもわからない状況でエネルギー、食糧の高騰で益々貧富の格差社会になって来ました。2 月 6 日にはトルコ、シリアでは大地震が起き 5 万人以上の方が無くなっています。(有つてはならない戦争と災害、)ライオンズクラブ活動が未来に幸せが継がる様に「334-A 地区のガバナーキーワードを「一隅を照らす—未来への投資」にいたしました。

後ろ向きの材料を探せばいくらでもあります。いかに前向きの力を生み出して共有し、ライオンズ活動を持続可能にするのが肝心です。頼もしさも、優しさも、励ましも、安らぎも、長い道のりを行く中である時は声援になり、振り向けば思い出になります。まだまだ続く未来につながります。今後も世界や日本の状況は変化していく事でしょう。しかし「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」助けの手を必要とする方々へ奉仕が提供されるようにご尽力をお願いすると共に、会員の皆様が健康で安全に奉仕される事を祈念いたします。

基本方針(案)

1. 会員増強と退会防止

目標：年間純増 200 名

ライオンズクラブの歴史の中でも最も大変な時期を迎えていると感じております。会員の減少に歯止めがかからず、さらに COVIT-19 の影響によって、新入会員の勧誘にも難しい状況です。しかしながら、昨年度そのような状況下でもクラブによっては 5~15 名の会員純増を果たしたクラブがあります。

過去、地区で最高 8,600 名だった会員数は現在 5366 名(家族会員 2 人目以降含む)となっておりますが、それぞれのクラブが本気で会員増強に取り組み、そのうちの 4% のメンバーが 1 名を入会させることに成功すれば、200 名の純増も夢ではないと信じております。

経済同友会、JC、ゴルフ仲間、友人、PTA 関係等色々な集まりで知り合った親しい仲間の方々に声をかけていただき、全力で勧誘をお願いいたします。

又、退会防止にもご尽力尽くしていただきたく考えておりますので、お手伝いできることがあれば何なりとお申し出ください。私にできることであれば喜んで協力をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

2. GET(エクステンション)

目標：新クラブ 3クラブ / 新支部 5クラブ 結成

近年新クラブの結成がなく解散クラブが多くなっております。新クラブ結成はクラブ最大のアクティビティでもあると考えます。

愛知県内にはまだ空白地域があると思います。活動範囲を広げ地域社会に貢献するため、大変難しいとは思いますが、新クラブ誕生を実現しましょう。

又、全てが同じライオンズクラブは存在しません。人々のニーズに応じた事態に応じた新しいタイプのクラブの誕生も考えていただきたいと思います。

3. 新しい奉仕活動 奉仕活動の推進

目標：世の中の動きを捉えた奉仕活動の実施

私たちを取り巻く社会はどんどん変化しております。ライオンズクラブの伝統を重んじながらも新たな変化が求められています。社会における奉仕の在り方が変化する中で、私達は新たな奉仕活動を考え行動していかなければなりません。「一隅を照らす」の考え方にに基づき、それぞれの地域で求められている奉仕活動への取り組みをお願いいたします。

また、会員減少の影響で奉仕活動への取り組みが困難なクラブは、他クラブとの合同やゾーン単位での取り組みでの検討をお願いいたします。それぞれのゾーンにて開催されていますガバナー諮問委員会での活発な意見交換を通じて各クラブの絆が深まり奉仕活動に反映されることを期待します。

4. LCIF への取り組み

目標：LCIF 寄付金 110 万ドル

ライオンズクラブ国際財団(LCIF) は、人類の福祉に貢献すること大災害や緊急事態の救済を目的としており、人道的な奉仕事業と交付金を通じて地域社会に希望を与えて人々の暮らしを改善することを使命としてきます。

皆様の寄付が LCIF を通じて命を救います。支援を待っている人々に明るい未来を届けるためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。\$100 寄付、MJF の参加率を上げ、LCIF 寄付金ゼロクラブ、MJF 寄付金ゼロ会員を無くすよう推進してください。そして、交付金を活発に活用いただき人道的アクティビティを多数実現してください。